


くすりのしおり

内服剤

2012年10月改訂


<p>薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。</p>	
<p>商品名:ベザトール SR 錠 100mg 主成分:ベザフィブラート(Bezafibrate) 剤形:白色の錠剤、直径7.1mm、厚さ3.4mm シート記載:ベザトール SR100mg、BT100、高脂血症治療剤、BEZATOL SR</p>	
<p>この薬の作用と効果について 肝臓でのコレステロール、トリグリセライドの合成を阻害し、血中のリポ蛋白の代謝を促進することにより、血液中のLDL-コレステロール、トリグリセライドを低下させ、HDL-コレステロールを増加させます。通常、高脂血症（家族性を含む）の治療に用いられます。</p>	
<p>次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。人工透析を受けている、腎疾患、肝障害、胆石症がある。・妊娠または授乳中・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。	
<p>用法・用量（この薬の使い方）</p> <ul style="list-style-type: none">・ あなたの用法・用量は <<< :医療担当者記入>>・ 通常、成人は1回2錠（主成分として200mg）を1日2回朝夕食後に服用しますが、腎臓が悪い人、高齢者は適宜減量されます。必ず指示された服用方法に従ってください。・ 飲み忘れた場合は、気づいたときに1回分を飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が近いときは、その回の服用は避けて、次の通常飲む時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。	
<p>生活上の注意</p> <ul style="list-style-type: none">・ 指示された食事療法や運動療法をきちんと守ってください。	
<p>この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用） 主な副作用として、腹痛、発疹、吐き気、貧血などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。</p> <p>まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。 このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 筋肉の痛み、力が抜ける、尿が赤褐色になる [横紋筋融解症]・ 顔がむくむ、口唇が腫れる、ショック症状 [アナフィラキシー様症状]・ 皮膚や白目が黄色くなる、体がだるい、食欲がない [肝機能障害、黄疸]・ 発熱、全身に赤い発疹や水ぶくれができる、眼が赤くなる [皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑] <p>以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。</p>	
<p>保管方法 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。	
<p>医療担当者記入欄 年 月 日</p>	

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

内服剤

2012年10月改訂

<p>薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。</p>	
<p>商品名:ベザトール SR 錠 200mg 主成分:ベザフィブラート(Bezafibrate) 剤形:白色の錠剤、直径9.1mm、厚さ4.1mm シート記載:ベザトール SR200mg、BT200、高脂血症治療剤、BEZATOL SR</p>	
<p>この薬の作用と効果について 肝臓でのコレステロール、トリグリセライドの合成を阻害し、血中のリポ蛋白の代謝を促進することにより、血液中のLDL-コレステロール、トリグリセライドを低下させ、HDL-コレステロールを増加させます。通常、高脂血症（家族性を含む）の治療に用いられます。</p>	
<p>次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。人工透析を受けている、腎疾患、肝障害、胆石症がある。・妊娠または授乳中・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。	
<p>用法・用量（この薬の使い方）</p> <ul style="list-style-type: none">・ あなたの用法・用量は <<< :医療担当者記入>>・ 通常、成人は1回1錠（主成分として200mg）を1日2回朝夕食後に服用しますが、腎臓が悪い人、高齢者は適宜減量されます。必ず指示された服用方法に従ってください。・ 飲み忘れた場合は、気づいたときに1回分を飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が近いときは、その回の服用は避けて、次の通常飲む時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。	
<p>生活上の注意</p> <ul style="list-style-type: none">・ 指示された食事療法や運動療法をきちんと守ってください。	
<p>この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用） 主な副作用として、腹痛、発疹、吐き気、貧血などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。</p> <p>まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。 このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 筋肉の痛み、力が抜ける、尿が赤褐色になる [横紋筋融解症]・ 顔がむくむ、口唇が腫れる、ショック症状 [アナフィラキシー様症状]・ 皮膚や白目が黄色くなる、体がだるい、食欲がない [肝機能障害、黄疸]・ 発熱、全身に赤い発疹や水ぶくれができる、眼が赤くなる [皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑] <p>以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。</p>	
<p>保管方法 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。	
<p>医療担当者記入欄 年 月 日</p>	

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。